

台風・豪雨被害に注意しましょう！

近年、台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響が出る被害が発生しています。「減災」のための取り組みにつとめましょう。

【事前の対策】

- 府や市町の花ザードマップを確認し、どのような災害に遭う可能性があるかを把握しておく。
- 管理者や家畜の避難先・避難経路を検討。
- 発電機や排水ポンプ等を準備。
- 飼料や燃料は、少なくとも一週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つように努める。 飲水についても貯留タンクやくみ上げポンプなどを準備。



【被害拡大防止のために】

- 市町などから避難勧告が出された場合は、人命を守ることを最優先に行動。
- 避難まで時間的余裕がある場合は、しばらく飼養管理ができない可能性を考えた対応・対策を講じる。
- 畜舎の破損・換気扇や井戸水ポンプなど機器を点検し、漏電がないことを確認してから起動する。
- 道路の寸断等により飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜の生命維持を優先に飼養管理を変更する。また、家畜の移動も検討する。
- 畜舎や堆肥舎等に浸水や土砂が流入した場合は、除去後、消毒。
- 家畜の健康観察を行い、早めに往診を依頼。
- 濡れた飼料は変敗している危険があるので、給与しない。

家畜に異常が認められた時には、直ちに当所まで連絡してください。

京都府南丹家畜保健衛生所 南丹市八木町木原北東庄18

TEL:0771-42-3308 FAX:0771-42-5117